

# 「うさこちゃんの絵本」

## シリーズ全33作の軌跡をたどる

ブルーナさんは、現在までに120タイトルを超える絵本を発表。日本でも1964年に『ちいさなうさこちゃん』（福音館書店）を出版して以来、子どもがはじめて出会う絵本として親しまれています。うさこちゃんの軌跡をたどってみました。

※表紙の左上の数字は、オランダで発行された年です。 ※講談社版は現在販売されていません。

1963



『ゆきのひのうさこちゃん』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

第1版の2冊の改訂版とともに同時に刊行されたのが、雪をテーマにした1冊。雪だるまをついたり、そりで遊んだりしました。

1963



『うさこちゃんとどうぶつえん』(第2版)

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

『ちいさなうさこちゃん』とともに第1版から時間をあけてつくり直され、再登場。うさこちゃんも今度はまっすぐ前を向いて、動物園へ。

1963



『ちいさなうさこちゃん』(第2版)

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんが誕生したシリーズ1作目。左右対称の耳と輪郭、正面を向いた姿は、もうすっかりおなじみのうさこちゃんです。

1955



『うさこちゃんとどうぶつえん』(第1版)

1955年の『ちいさなうさこちゃん』と同じ縦長の判型。真正面を向いている今と違い、うさこちゃんは正面を向いていません。

1955



『ちいさなうさこちゃん』(第1版)

オランダで出版された初版のうさこちゃんは、耳が横向きで、うつぶき加減。より素朴な味わいで、判型が今とは違い長方形です。

1975



『うさこちゃんにゆういん』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

のどがひりひり痛くて、病院に入院することになったうさこちゃん。あまり泣き顔を見せないうさこちゃんも、今日は泣いちゃった。

1975



『うさこちゃんとゆうえんち』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃん一家は、お父さんが運転する車で遊園地へ。ブランコに鉄棒、シーソー、木登り。一日中、活発に遊びます。

1970



『うさこちゃんのたんじょうび』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

今日はうさこちゃんの誕生日。うさこちゃんをはじめて花柄のドレスを着ています。この作品でおじいちゃんとおばあちゃんが初登場。

1970



『うさこちゃん ひこうきにのる』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

おじさんはパイロットです。うさこちゃんは黄色いヘルメットをかぶって、おじさんと一緒に空の旅へ!

1963



『うさこちゃんとうみ』

訳/いしい ももこ  
735円 (福音館書店)

「うみ」も同時に刊行され、1963年に初期4部作が出版されます。赤い水泳パンツをひとりではけうさこちゃんが愛らしい1冊。

1988



『うさこちゃんのおじいちゃんとおばあちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

おじいちゃんとおばあちゃんと過ごす1日は、楽しいことがいっぱい。うさこちゃんはおばあちゃんにストールの編み方を習いました。

1988



『うさこちゃんおとまりにいく』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

お友だちに誘われて、うさこちゃんをはじめてよそのおうちに泊まりに行きました。ローラースケートにも初挑戦!

1984



『うさこちゃんがつこうへいく』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんはお友だちと学校へ行きます。お絵描きしたり、歌を歌ったり。先生、集団生活、お勉強。はじめてのことがいっぱい。

1982



『うさこちゃんとじてんしゃ』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

大きくなったら自転車に乗るんだ。うさこちゃんは考えます。この作品で、大好きなふわこおばさんがはじめて登場します。

1979



『うさこちゃんのゆめ』

735円 (福音館書店)

シリーズの中ではじめての文字のない絵本。雲に乗って空を飛び、うさこちゃんはお友だちと一緒に月や星と遊びます。

# 著作権保護コンテンツ

1996



『うさこちゃんの  
だいすきな おばあちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんは大粒の涙を流しています。ゆうべ、おばあちゃんが亡くなったのです。お葬式からお墓参りの体験を静かにつづります。

1995



『うさこちゃんのてんと』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

ある夏の日、庭にテントを張ってもらったうさこちゃん。中でサンドイッチを食べたあと、プールを出して水遊びもしました。

1992



『ふわこおばさんの  
ばーてーいー』

訳/まつおか きょうこ  
840円 (福音館書店)

ふわこおばさんがうさこちゃんたちをパーティーに誘います。くまのばーばらとぼりす、ぶたのうたこさんとふがこちゃんが登場。

1991



『うさこちゃんのおうち』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんは赤い屋根のおうちに住んでいます。コップ、おもちゃ、ワードローブ。うさこちゃんの持ち物もたっぷり紹介。

1991



『うさこちゃんの  
さがしもの』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

朝起きたら、大切なぬいぐるみのくまさんがいなくて、うさこちゃんは泣き出してしまいました。うさこちゃんは一生懸命に探します。

2002



『うさこちゃんのダンス』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんはダンスを踊れるようになりました。うさこちゃんの仲間たちが次々と登場。茶色の犬、くんくんも登場します。

2001



『うさこちゃん  
まほうをつかう』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

もしも、魔法を使えたら……。うさこちゃんは自分のためだけに魔法を使うわけではありません。動物たちも幸せにあげました。

2001



『うさこちゃん  
おばけになる』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

白いシーツをかぶせてもらって、おげごっこ！ お友だちも、大好きなふわこおばさんまで逃げ出してしまいました。

1999



『うさこちゃんと  
にーなちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

外国に住むにーなちゃんが、飛行機に乗って訪ねてきました。色が違って、とっても仲よしのお友だち。

1997



『うさこちゃん  
びじゅつかんへいく』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんは生まれてはじめて美術館へ行きました。美しい絵やユニークな作品にふれ、うさこちゃんは絵描きさんになりたいと思いました。

2005



『うさこちゃんとふえ』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

おじいちゃんが森で見つけた木の棒で笛をつくってくれました。うさこちゃんは曲を練習し、おじいちゃんに聞かせてあげました。

2005



『おかしなくにの  
うさこちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃん誕生50周年の年に刊行。ここがお菓子の国なのがいいの。おかゆを食べたくないうさこちゃんは、空想の世界へ。

2004



『うさこちゃんのはたけ』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

つなぎを着て、畑仕事へ！ 土を耕し、にんじんの種をまき、じょうろでお水をあげると、やがて芽が出てきました。

2003



『うさこちゃんと  
あかちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

ある春の日、もうすぐ赤ちゃんがやってくることを知ったうさこちゃんは大喜び！ うさこちゃんはお姉ちゃんになりました。

2003



『うさこちゃんのがみ』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

キャンプに行ったうさこちゃんが、お父さんとお母さんに手紙を書きました。キャンプの楽しさがいきいきと伝わります。

2011



『うさこちゃんと  
ふがこちゃん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんのような耳に憧れている、ふがこちゃん。そっくりの耳をつくってもらい、うさこちゃんの家に行きます。

2009



『うさこちゃんのおじいちゃんへのおくりもの』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

もうすぐ、おじいちゃんの誕生日。うさこちゃんはおばあちゃんに教わった編み方を思い出しながら、マフラーを編んでプレゼント。

2008



『うさこちゃんと  
きやらめる』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

お母さんと買い物に行ったうさこちゃんは、お店で見つけたキャラメルをこっそりポケットに入れてしまいました。そしてうさこちゃんは……。

2007



『うさこちゃんはいじょうさま』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

うさこちゃんは女王さまになった夢を見ました。ときには悲しんでいる人に寄り添い、うさこちゃんは女王の仕事を立て派につとめます。

2006



『うさこちゃんと  
たれみくん』

訳/まつおか きょうこ  
735円 (福音館書店)

片耳がたれている転校生をクラスのみんなはたれみくんと呼びます。うさこちゃんは勇気を出して、名前を呼ぼうと提案します。

# 被災地に子どもの本ができること

岩手県陸前高田市には2012年11月に「にじのライブラリー」と、「ちいさいおうち」の2つの図書館が開館しました。今回は両館に中川ひろたかさんが来館したようすをお伝えします。



## 絵本作家の中川ひろたかさんが「にじのライブラリー」と「ちいさいおうち」を訪問

中川さんが陸前高田を訪れたのは、梅の花が満開の4月20日。一ノ関から車で1時間半、いくつもの山を越え陸前高田市に入ると間もなく、一面、何もない平野が視界に飛び込んできます。家も港も学校も、何もかもがなくなっていて、かつてはここが街の中心部だったとは想像もできません。ご自身もすでに何か所もの被災地を訪れています。この地の被害の規模と範囲の広さには驚きを隠せないようす。車が進むにつれ無口……。

気を取り直してまずは竹駒町コミュニティセンターの敷地内にある「ちいさいおうち」を訪問。ここはNPO法人うれし野子ども図書室の分室にあたります。トレーラーハウスを利用したかわいい外観とマッチした室内には、あたたかな空気が流れていました。ドアを開けるとベンチシートがあり、奥には背の高いテーブル、背の低いテーブル、幼児用の小さなチェアなど、いくつものコーナーが。その日の気分で好きな場所が読めます。東京子ども図書館



木の香りのするあたたかい室内で、自著にサインも。

### 陸前高田子ども図書館「ちいさいおうち」

岩手県陸前高田市竹駒町字館44  
TEL：090-1409-8009  
開館日/時間：  
火・水・金・土・日曜日 10:00～16:00

### にじのライブラリー

岩手県陸前高田市気仙町字中井2番地  
今泉天満宮内  
TEL：0192-55-3203  
開館日/時間：  
土・日曜日、祝日 10:00～16:00  
水曜日 13:00～18:00(当面の間)



荒木さんと記念撮影。

# 著作権保護コンテンツ



食事のひとときにギターをつま弾きながら歌を披露してくれました。

が選書をしているだけあり、絵本のほか、児童文学も豊富にそろい、蔵書も2000冊を超えます。居心地のいい空間に、子どもだけでなく大人の利用も多いというのもうなずけます。

次に訪れたのは、「子どもたちへへあしたの本プロジェクト」が運営する仮設図書館「にじのライブラリー」。本誌でもその準備期間、オープン時と何度かお伝えしてきました。ライブラリーは花のプランターに囲まれ、海辺の里山にも春が来たことを知らせてくれます。

「ここも窓が大きくて、くつろげる空間だね」と、中川さんもお気に入りのようです。たくさんの蔵書からご自身の絵本を見つけ、「いい本が置いてあるねえ」という場面も。夕方からここで3人の座談会が開かれました（その模様は次ページから）。

夜、図書館のスタッフたちと食事とともにし、話題は震災のことへも。「にじのライブラリー」運営責任者の荒木奏子さん、「ちいさいおうち」専任司書の吉田佳織さんのおふたりと自宅を津波に流された話には、体験者ならではの生の声がありました。報道では伝わらない災害時の状況やこの1年間の現状を聞くにつけ、改めて自然への畏怖の念が湧きおこるのです。

中川さんはそんなおふたりに自らギターをつま弾き、ご自身が作曲し



1時間半にもおよぶ朝の散歩は空気もすがすがしく。

た「はじめの一步」や「空より高く」を披露してくれました。

「空より高く」は自衛隊の助けに感謝した地元の小学生たちが、何かお礼をしたいとの思いから「僕たちは歌が歌えるよ。歌をプレゼントしよう」と、録音をしたものを岩手県の地元ラジオ局に送ったのだそうです。

その後、それを聞いたリスナーからリクエストが相次ぎ、くじけそうな心を支えるように震災後に繰り返し流れていました。

心にしみる歌詞と中川さんのギターに小さな幸せを感じる夜となりました。

中川さん、ありがとうございました。

## 盛りだくさんのおはなし会も楽しく!!



「たちねぶた音頭」に合わせてみんなで踊ろう!



絵本の読みかきせに身を乗り出す子どもたち。



最後は全員で記念写真をパチリ!

翌21日の午後、「にじのライブラリー」で開かれたおはなし会にはたくさんの親子と中川さんのファンという保育士さんたちが詰めかけてくださいました。

「ダジャレすいぞくかん」の読みきかせから始まり、「いっぽんばし、にほんばし……」ではしよっぱなから中川さんのだじゃれトークに笑い転げる子どもたち。「にんじゃのしゅりけん」や「たちねぶた音頭」ではみんな立って踊り、お母さんたちも真剣です。

エンターテイナー絵本作家の抱腹絶倒おはなし会の1時間はあっという間に過ぎていったのでした。

## プログラム

## 高齢者

どこで/特別養護施設 所要時間/30分  
 テーマ/夏のすがすがしさを感じて

### このプログラムのポイント

光と緑の季節に、朝に香る自然を感じ、活力あふれるお祭りにもご招待。拍子木の音で心も軽やかに!

#### ①「あさの絵本」

文/谷川 俊太郎  
 写真/吉村 和敏  
 1,470円(アリス館)

朝が来るのはすてきなこと。地球が静かに目を覚ましていくようすの風景写真に、谷川俊太郎のわかりやすい言葉が添えられています。今日の力が湧いてくる写真詩集です。



#### ②「あさがお」

文・絵/荒井 真紀 1,260円(金の星社)

夏を象徴する花、アサガオをゆっくり丁寧に観察できるこまやかな描写で、色彩もあざやかな1冊です。



#### ③「七ふくじんとなつまつり」

作/山本 やすえ  
 絵/伊東 美貴  
 1,365円(教育画劇)

夏祭りの笛の音の誘いによってやってきた七福神。厄払いを願う日本の夏祭りの由来もわかり、明るく幸せな気分になってきます。七福神って、それぞれどんな神さまでしたっけ?



#### ④「祇園祭」

作/田島 征彦 1,785円(童心社)

「こんこんちきちん こんちきちん」。祇園祭に出かけたような臨場感を味わえ、歴史や流れもよくわかります。鉦を立ち上げる場面は迫力満点。



#### ⑤「紙しばい屋さん」

作/アレン・セイ 1,575円(ほるぷ出版)

幼少期を日本で過ごしたアレン・セイが描くあたたかい物語。紙芝居屋のおじいさんの心情に思いを寄せて、懐かしい会話が弾みます。



#### ⑥紙芝居「かっぱのすもう」

脚本/渋谷 勲

絵/梅田 俊作  
 監修/松谷 みよ子  
 1,680円(童心社)

民話紙芝居「わらいばなしがいっぱい」シリーズのおはなし。相撲好きのじいさまとカッパのやりとりがなんともおもしろいのです。



(小林 圭子)

## プログラム

## 小学校高学年

どこで/教室 所要時間/10~15分×2プログラム  
 テーマ/いのち輝いて!

### このプログラムのポイント

実話をもとにした絵本を核にしたプログラムです。絵と文の言葉を大切に、ゆったりと読んでほしいと思います。

#### プログラム A

#### ①「アフリカの音」

作・絵/沢田としき 1,575円(講談社)

かわいたアフリカの大地に響く太鼓の音。自然と密接に暮らす人々の、大地の恵みや命の連なりへの感謝の気持ちが伝わってきます。次の本とのつながりを大切に。



#### ②「つぼつくりのデイク」

文/レイバン・キャリック・ヒル

絵/ブライアン・コリアー

訳/さくま ゆみこ

1,680円(光村教育図書)

200年ほど前のアメリカに実在した奴隷のデイクのおはなしです。デイクが自作の壺に記した彼の名前や詩が語っていることは……。水彩とコラージュの絵は少し離れていてもよく見えます。



#### プログラム B

#### ①「木」

画/佐藤 忠良

文/木島 始

840円(福音館書店)

迫力ある絵と心地よい言葉が木の生命力を語ってくれます。子どもたちから「おおおっ」という反応が返ってきますよ。



#### ②「綱渡りの男」

作/モーディカイ・ガースティン

訳/川本 三郎

1,680円(小峰書店)

今はない世界貿易センターの2棟のビル間に綱を張り、地上400mの高さで綱渡りをした男の実話をもとにした絵本です。空中での爽快な開放感が伝わってきます。



#### ③「あさの絵本」

文/谷川 俊太郎

写真/吉村 和敏

1,470円(アリス館)

地球が静かに目を覚ましていく一瞬一瞬の時間を切り取ったような写真絵本です。その日一日を気持ちよく過ごせるような気がします。



(中田 逸子)

## プログラム作りに使える

## 行事絵本

## 季節の絵本

## 梅雨

## 『かえるの あまがさ』

著/与田 準一  
画/那須 良輔  
1,050円(童心社)

雨と仲がいいのは、カエルと傘。カエルが葉っぱの雨傘を売りました。それを買ったカエルたちのようすが、雨粒のようなリズムでつづられます。



## 父の日

## 『おとうさんのえほん』

作/高島 純  
1,260円(絵本館)

ゴリラ、ペンギン、ワニ、ライオン……次々登場する動物のお父さんたち。子どもたちのことを思い、仲よくなりたいと奮闘します。でも、思うようにはいかないようです。



## 赤ちゃん

## 『たてたて よこよこ』

作/いしい じゅね  
525円(らくだ出版)

手のひらサイズの小さな本ですが、のびる、曲げる、でんぐりがえる……、絵本の登場人物たちと一緒に、体を動かしたくなります。



## 紙芝居

## 『ホタルくんとカエルさん』

脚本/得田 之久  
絵/やました こうへい  
1,995円(童心社)

小川の中で友だちになった小さな2匹の虫は、やがて姿を変え、離れ離れになりました。でも、再び巡り合い、楽しい夏を過ごします。昆虫の生態を踏まえたおはなしです。



## 『どろんこおぼけ』

脚本・絵/ひろかわ さえこ  
1,470円(童心社)

子どもたちが大好きな泥んこ遊び。おぼけのように泥んこになって登場するのは誰でしょう？ 小さな子から楽しめる、繰り返しがうれしい参加型紙芝居です。



(安富 ゆかり)

## プログラム

## 書店

どこで/店内 所要時間/30分  
テーマ/びちゃびちゃ、なんの音？

## このプログラムのポイント

梅雨の雨降りのあとには、水遊びの季節がやってきます。さまざまな形の水を知って、夏をもっと楽しみましょう。

## ①『あめぼぼぼ』

作/ひがし なおこ  
絵/きうち たつろう  
840円(くもん出版)

雨の音っていつも同じではないですね。耳をすますといろいろな音が聞こえて、雨降りの日も楽しくなります。



## ②『ぞうさんのおとしあな』

作/高島 純  
1,365円(ポプラ社)

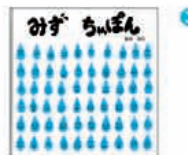
いたずら好きのぞうさんがつくった落とし穴。でも誰もはずまらず、雨が降ってきました。さあ、どうなったかな。



## ③『みずちゃぼん』

作/新井 洋行  
840円(童心社)

雨だけでなく、水はさまざまな音を出します。文字の大きさや位置を考えて読み方を工夫してみてください。



\*子どもたちに年齢の開きがあるとき、前半を年少者向けにしてようすを見て、幼児が後半聞けそうか確認してもいいでしょう。

## ④『ふねくんのたび』

作・絵/いしかわ こうじ  
1,260円(ポプラ社)

海を行くふねくんの旅です。はっきりした遠くからもよく見える絵ですが、最後の横に広がるページはふたりで持つと見やすいでしょう。



## ⑤『うしろにいるのだあれ うみのなかまたち』

作/accototo ふくだ としお+あきこ  
1,365円(幻冬舎)

海にはどんな生き物がいるのかな？ みんなでクイズをしてみましょう。



## ⑥大型絵本『ガンビーさんのふなあそび』

作/ジョン・バーニングム  
訳/みつよし なつや  
6,300円(はるぶ出版)

川を下るガンビーさんの小舟に、みんなが「のせて」とやってきます。大型本は色の線画のページもわかりやすいです。



(江口 陽子)



この人にあれもこれも

# こんにちはは！ 絵本作家さん①



「わがままくまさん」  
などでお楽しみ！

たかばたけ な お  
**高島 那生さん**

## 進化は続くよ どこまでも

今号はどーんとページを増やし、30代の若手注目絵本作家さんおふたりをピックアップ。

パート1では、大胆かつ痛快な発想が楽しい作家・高島那生さん。

1冊の絵本が形になるまでの制作過程や作者による超マニアックな絵本の見どころもご紹介。

撮影/石川 正勝 取材・文/菅原 千賀子

将来の夢は動物系  
「キリンやイヌになりたかった」

小さいころは内省的な子どもだったかな。そのころの僕はキリンやイヌになりたいと思っていました。キリンだと一日中ぼうつとできて、なんにもやらなくてもよさそうだし、首も長くてかっこいい。あこがれでしたね。でも、幼稚園のころには、録音したカセットテープの声によると「けいさつかんになりたい」と答えていました。まわりの子がそう言っていたから、僕も流れに乗ったの(笑)。まったく思ったこともなかったのにね。

最近話題の「絵本 地獄」(風濤社)という絵本が好きだったなあ。家の裏の倉庫に、昔のおもちやコタツなどさまざまなものがいまわられているなかで、この絵本を見つけたのです。ひとりで倉庫の暗がりにはびり込んで「怖っ……」とおびえながらページをめくった記憶がありますね。

高校から美術系の学校へ進みました。少ない受験科目と自画像デッサンだけで「簡単そう」と思えたから。大学に入ってから特になりたいことも、何かになりたいという目標もなかった。ただ、この経験を経てはもったいないし、何を始めるにしても手遅れじゃないかというあせりも感じていたので、食べていくために絵を描く仕事に、そして絵本へと自然にたどりついた感じですね。

## Switch On …スイッチ・オン!

現在は学童保育のスタッフとしても活動中のおくはらさん。小学1年～3年までの子どもたちと一緒に遊び、放課後から最後の子が家に帰る夕方までの時間をともに過ごしているのだとか。

「ここで発見できたのですが、私ってかなり子ども寄りな人みたいです。先日、『不審者ごっこしよう。こうやって(市原悦子演ずる家政婦みたいに)陰からのぞくんだよ』と子どもから遊び方を教えてもらい、おもしろそう! と胸がときめいた。『じゃあセンセイが不審者ね』と自ら立候補。『不審者だぞー』と大声で子どもたちを追いかけ回していたら、館長から『そんな遊びは親御さんが心配するでしょ』とたしなめられて、『はっ! そうか……』と反省したところだ。

子どもと一緒に怒られることがすごく多いんですよ。彼らといると、子どもスイッチがぶちんと入って、変なテンションになるのかなあ……?」

## おくはら ゆめさん を知る

## 5つの キーワード

**おっとり、のんびりした口調で話すおくはらさん。しかしその内面には、好きなことに対してとことん向きあう、ガッツあふれる熱い血潮がほとぼしているのです。**



## Hint …ヒント

創作のヒントはどんなときに見つけることが多いのでしょうか?

「作品によってももちろんそれぞれ違って来けれど、共通しているのはひとりであるとき、でしょうか」

ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ドクダミなど、可憐で身近な草花が特に好きなおくはらさん。絵本のなかで丁寧に描かれている草花たちは、おくはら作品の魅力のひとつ。

「庭の草たちを見るときは、しゃがみこんで足がびりびり(しびれる、の意)になるまで観察するんです。好きになったものは、とことんじっくり見つめ続けてしまう。あるひとつのことを何度も何度も考え続けたあとで、手を動かして落書きなんかをしているときに、ふとヒントが見えてくることが多いかな。

自分のつくる絵本の核となっているもの、それはきつと『好き!』という気持ちから生まれてくるものなんじゃないかな」

## CAT …ネコ

現在2匹のネコと同居中のおくはらさん。取材中、そわそわうろうろ歩き回り、自らの存在を気さくにアピールしていたのは「アクティブな初老」ことアピシニアンの「月影(愛称つつきー)」現在11歳。明日編集者に渡す原画の上を堂々と歩く大胆不敵さ(写真下)。

それとは対照的にまったく姿を見せなかったシャイな「ふうちゃん」も一緒に暮らしています。『まんまるがかり』(理論社)に登場するグレー縞のネコ「ハナマル」は、一昨年までともに暮らした愛猫「花丸」がモデルです。



## Zombie …ゾンビ

おくはらさん、最近のブームはなんですか?

「今夢中なのはゾンビです! あ、そこにゾンビの置物つくったのがあるんですけど、見ます? あのね、これがゾンビちゃん(P48・写真⑥左をご参照あれ)。手もピンク、足もピンク。おしゃれでネイルが好きなんです。おしゃれなんやけど、血もちょっと出ていて、うれしいと目が取れて出てくるんです、『あーうれしい(ぼろっ)』って。

去年の夏、暑かったでしょ。涼しくなろうとホラー映画を見ていたら、なかなか死なないゾンビの存在に注目している自分に気がついたんです。『ゾンビってなんやねんやろ?』と。もっか模索中なんです、ゾンビのこと。あー、気になる、めっちゃ気になりますね!」

ちなみに写真のゾンビちゃんの横に並んでいる「ゾンビちゃんパパ」は、同じく絵本作家の石井聖岳さんによるものなのだそう。

## CYCLING …サイクリング

「ロードバイクに乗って、あてもなくふらふら遠くへ行くのが好きなんです。最近、自転車派の女性もずいぶん多くなってきていますよね。私、佐渡島を一周したこともあります。一周210kmを12時間以内に走るレースに参加し、11時間半ぐらいでギリギリゴールすることができました。

家から遠出することもあるんですけど、帰り道はたいいて後悔しながら漕いでます。『遠いー、足重いー、自転車捨てて電車乗って帰りたい』って思うんですけど、そういうのも醍醐味。私、ちょっとマゾなのかもしれない(笑)」

